

- 若年がん患者生殖機能温存治療費助成事業の実施に合わせ、下記の取組を行うこととしてはどうか。

課題	取組	取組主体	いつまでに
<ul style="list-style-type: none"> 医療関係者の理解促進 がん治療施設＝生殖機能温存治療実施施設間の連携 	<ul style="list-style-type: none"> 生殖機能温存や体制づくりに関する勉強会の開催（オンライン開催や映像媒体の作成等の方法を含む） 	A Y A 世代がん部会	R 3～5 年度
	<ul style="list-style-type: none"> 院内・病院間連携の体制づくりの好事例の共有 	A Y A 世代がん部会	R 3～5 年度
	<ul style="list-style-type: none"> 共通紹介状の作成 	A Y A 世代がん部会	R 3 年度上半期
<ul style="list-style-type: none"> （看＝看連携） 	<ul style="list-style-type: none"> A Y A 世代がん部会内に「看護ワーキンググループ」を作り、<u>看護師向けの勉強会の実施・情報交換の場の提供</u> 	A Y A 世代がん部会	R 3 年度内
<ul style="list-style-type: none"> 相談支援体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援センターが用いる<u>相談支援マニュアル作成及び情報提供</u> 	A Y A 世代がん相談支援センター（仮称）に委託	R 3 年度内
	<ul style="list-style-type: none"> 生殖機能温存治療実施施設に関する<u>情報収集及び情報提供</u> 	A Y A 世代がん相談支援センター（仮称）に委託	R 3 年度～
<ul style="list-style-type: none"> 患者・家族・一般都民に対する普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 患者・家族向け普及啓発媒体の作成やWebサイトでの生殖機能温存に関する情報提供など、<u>効果的な普及啓発方法について検討</u> 	福祉保健局	R 3 年度内



A Y A 世代がん部会において、進捗管理を行う。